

Shari

広報しやり

2018

No.393
月号

2018 年頭のごあいさつ

斜里町長 馬場 隆



写真：斜里の夜明け

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、ウトロ小中学校100周年、朝日小学校30周年、そして「しれとこ100平方メートル運動」40周年など大きな節目をお祝いました年でありました。地域とともに、全国の人とともに、そして地域を愛した、知床を愛した人の営みに、改めて感謝と敬意を表します。

ここに至る「時」は、決して流れのままに迎えた「時」ではありません。その時、その時、関わった人々の汗や努力の結晶です。一人ひとりが、一歩一歩踏みしめ、困難があっても逃げることなく立ち向かった「時」、一人ひとりの楽しみ、喜び、苦しみ、悲しみがいっぱい詰まった日々の「時」の積み重ねです。その歩みを止めてはなりません。これまでを振り返り、さらなる未来に向けて新しい一歩を踏み出す年が2018年です。

北海道150年、斜里町140年、町制施行80周年、姉妹町盟約45周年、友好都市盟約35周年、ゆめホール開館20周年など今年もまた、大きな節目を迎えます。

先人からプレゼントされたこの町を、未来へつなげるのは、今を生きる私たちの責任です。斜里町を取り巻く社会や経済の環境は、厳しい状況が続く、人口減少対策としての地方創生の成果もまだまだこれからです。多くの課題を抱えていても、決してひるまず、先人からの学びを生かし、時代に応じた柔軟な姿勢をもち、希望をもって明日に向かっていかなければなりません。

私たちの愛するまち斜里町です。「時」のつながり、「人」のつながりを大切に、健康で笑顔あふれる「幸せを実感できる住みよい」まちを「みんなで」つくっていきましょう。

結びに、ほっとメール@しやりの緊急情報が流れないことを願うとともに、新しい年が皆さまにとって幸せ多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年の挨拶いたします。

「いつも知床の自然がそばにありました。それは、昔も今も変わらない」

親子三代で
知床ウトロ学校に入学

大宮恭一さん (右)
高木舞子さん (左)

杏 ちゃん(中央)



地域と

知床ウトロ学校開校100周年

知床の自然とともに

親子3世代でウトロ学校に入学した大宮さんと高木さん親子、記念事業協賛会のみなさんにお話を伺いました。

校舎が移り変わり

思い出も移ろう

大宮恭一さんは昭和44年に、娘の高木舞子さんは平成3年に知床ウトロ学校(旧宇登呂小学校)に入学しました。さらに、お孫さんの杏ちゃんは現在ウトロ学校の2年生。親子3世代でウトロっ子です。

ウトロ学校の二代目と三代目の校舎にあたる「ペレケ第一校舎」と「ペレケ第二校舎」で過ごした、大宮さん。当時のことを聞くと、「校舎は寒かったなあ」という声が一番に上がり、「休み時間になると、みんなでだるまストーブのまわりを囲んだなあ」と当時のことを語ってくれました。さらに思い出を聞くと、「運動会が楽しかった。住んでいる地区ごとでチームに

分かれて、リレーをやったりしてね」と懐かしみながら、しみじみ話してくれました。

舞子さんはペレケ第二校舎とウトロ高原にある現校舎で過ごしました。当時は集団下校で、「家からペレケ第二校舎は遠かったけど、みんなで通えたことは楽しかったですね」と顔をほころばせました。

変わったこと それでも変わらないこと

当時と今を比べ変わったことを伺うと、「遊びの内容」と大宮さんは話します。

「冬は山でスキー、春の雪解けとともに外で走り回り、夏は海水浴、収穫時期になれば農家でイモ拾いなど、季節と子どもたちの遊びが連動してい

ました。今は時代の流れでしょうが、危険だという意識から自由度はなくなっただと思います」

それでも今でもウトロ学校では浜辺に行ったり、川に鮭の遡上を見に行ったり知床の自然を生かした授業があります。舞子さんが「外に行く授業、好きだもんね?」と聞くと、元気に「うん!」とうなずく杏ちゃん。時代が移り変わっても、知床の自然は子どもたちのそばにあり続けるのです。



恭一さん、舞子さんが通った思い出の学び舎「ペレケ第二校舎」

「100周年を契機に、さらに地域に愛される学校になつてくれれば」

学校になつてくれれば」

ウトロ小中学校
開校百周年記念事業協賛会

桑島 繁行 会長 (中央)
久保 学 さん (右)
遠藤 真人 さん (左)



▶ Report

Making of カラオケ映像

ぼくたち・わたしたちが
つくった校歌の映像

100周年を記念し、北海道文化財団とゆめホール知床の協力で、ウトロ学校の子もたちがアーティストのアサダワタルさんと校歌のカラオケ映像を作るワークショップが行われました。



はじめにレコーディング。歌い慣れている校歌ですが、今日は少し緊張気味です。



オープニングの撮影。3人の元気な姿とかけ声が印象的です。



映像にテロップとして入れる歌詞の撮影。この字も子どもたちが一文字ずつ書きました。



12月9日に行われた記念式典で、映像がお披露目されました。「ぼくだ！」と自分の姿を見つけて、歓声が上がっていました。

「さいはての年輪」に
込める思い

編集期間、約2年。ウトロ小中学校開校百周年記念事業協賛会のみなさんが大変な苦勞をしてつくられた、ウトロの学び舎100周年記念誌「さいはての年輪」が完成しました。この記念誌は学校だけではなく、ウトロ地域全体の歴史もつづられています。

「ウトロ地域の発展とともに歩んだウトロ学校。地域の歴史なくして、学校を語ることはできないと思いました」と記念誌の編集を中心となつて行われた遠藤さんは話します。さらには、タイトル「さいはての年輪」にも強い思いが込められています。

「この厳しいさいはての地で、先人のみなさんは大変な苦勞をしながら年輪を重ねていったと思います。校章にもあるようにその思いを子どもたちも引き継ぎ、さらに年輪を重ねてほしいと思います」と遠藤さんは力強く語りました。

地域にとって

学校も子どもも宝物

「自分の母校だつたり子どもが通つていたり、地域のみなさんは学校に愛着があるんです。だから、みなさんも学校を大事にするし、子どもを宝だと思つている」と話すのはPTA会長を務める久保さん。

「それでも、子どもが減り親の数が減り、昔よりは地域と

の結びつきが薄くなつてしまつている」と協賛会の桑島会長は話します。「この100周年を契機に、地域のみなさんにも子どもたちにも先人の苦勞を知つて、学校に愛着をもつと持つてもらえたら」



記念誌の全400ページ。地域と学校の100年の歴史が詰まっている

「当初から変わらない教育目標のとおり、
息子はのびのび朝日小で育っています」

お父さんが朝日小初の卒業生 樽見憲人さん（左）
息子さんは朝日小の児童会長 徳馬くん（右）



いきいきと朝日小学校開校30周年

のびのびと

親子2世代で朝日小に入学した樽見親子と記念事業協賛会の内田会長にお話を伺いました。

親子2世代で過ごす 朝日小の日々

朝日小学校の開校は昭和63年。当時6年生の樽見憲人さんは他の学校から移り、朝日小の最初の卒業生となりました。そして、息子の徳馬くんは現在、朝日小に通う6年生。児童会長を務めています。

「仕事柄、転勤することが多く、朝日小に息子が通うことになったのは小学4年生のことでした。自分が通っていた学校に息子が通うことになると思わなかったため、感慨深いものがありますね」と話す憲人さん。

一方、徳馬くんは「やっぱり転校は不安だったけれど、お父さんが通っていた学校だと聞いて安心しました。朝日小のみん

なも優しく、すぐになじめました」と朝日小の印象を語ります。

憲人さんの朝日小の日々は、「たった1年間だったけれど、濃い毎日だった」と話します。特に印象に残っていることは、創立の記念に自分の名前を刻んだタイトルでピラミッドをつくったことだそうです。

今も、朝日小の前庭にあるそのピラミッド。徳馬くんは「その話を聞いて、お母さんと一緒にお父さんの名前を探しました」と笑顔で話してくれました。

今も引き継がれる 「いきいきのびのび」の心

もう一つ憲人さんが印象に残っているのは「いきいきのび

のび朝日の子」という学校の教育目標だといいます。

「その目標のもと、私もいきいきのびのびと1年間を過ごしました。その目標が今も引き継がれていて、息子も朝日小で感性を磨いているんだと思います」

「だよね？」と憲人さんが聞くと、照れ笑いしながらも力強くうなづく徳馬くんの姿がありました。



憲人さん思い出のピラミッド。タイトルには生き物が描かれている。

▶ Report

朝日まつり

朝日小がこの日だけの特別なお祭り会場に

11月25日の記念式典のあとに行われた「朝日まつり」の様子をお届けします。



保護者や地域の方々が屋台の売り子になって、児童のみんなをおもてなし。



今日だけは校内どこでも、食べたり飲んだりOK！



教室では工夫を凝らしたゲームが盛りだくさん！



アンサンブルグループ「Le ciel」が演奏や楽器で遊ぼうコーナーで盛り上げました。



「開校当初の熱い気持ちがいっつもでも引き継がれるよう、願っています」

朝日小学校
開校30周年記念事業協賛会

大内田 考行 会長

朝日まつり復活に

込めた思い

「記念事業が子どもにとっても、楽しいものにしたかった。それが、朝日まつりを復活させようと思ったきっかけです」

こう語るのは朝日小学校開校30周年記念事業協賛会の大内田会長。協賛会は昨年12月に発足し、記念事業を進めてきました。

事業で大きな目玉となったのが、「朝日まつり」。校舎全体がその日だけの縁日会場となり、食べたり飲んだり、ゲームをしたり；子どもたちの笑顔が溢れるのが目に浮かびます。

実は朝日まつりは過去に数回開催したことがあり、今回の開催で20数年ぶりの復活と

なりました。

「子どもたちに記念事業で何をやりたいかアンケートをとったところ、『朝日まつりをやりたい』という声が多かったです。参加したことはなくても親から聞いて、『楽しそう』と思ってくれたんでしょね」

当日は、保護者や地域のみなさんが中心となり、大盛況に終わりました。

「周りの方々からも、『子どもたち、いい笑顔してたね』と声をいただき、ほっとしています」

私を感じた熱い思いが引き継がれて欲しい

大内田会長は、過去にPTA会長を務められました



朝日まつりは子どもたちの笑顔があふれる一日となった

た。その中で感じたのは、「先生たちの熱さ」だといいます。「開校当初の校長先生がとても教育熱心な先生だったので、その思いが30年間続いているんだと思います。その思いがこれからも引き継がれて欲しい、そう願っています」

そう語る大内田会長の言葉一つ一つにも、朝日小を思う気持ちの熱さを感じられました。

地域おこし協力隊

12月に斜里に着任！

「地域おこし協力隊」とは地方で地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。斜里町のテレワーク推進事業を担うため、12月1日付で地域おこし協力隊が着任しましたのでご紹介します。

岡 役場 企画総務課 企画係 ☎ 0152-23-3131 内線 214



就任のあいさつ

こんにちは！この度地域おこし協力隊に着任した

山本 珠代 (やまもと たまよ) です。

18歳まで斜里町で育ちましたが、進学を機に上京しており、38年ぶりに斜里に戻ってまいりました。

久しぶりの斜里は「やっぱり自然がきれいだなぁ」と思う反面、人が少なくなって「少しさみしいなぁ」と思うことも…。

私は「**テレワーク**」という働き方改革を主に、斜里町のまちおこし任務を遂行していきます。

東京に住んでいて、知床に憧れている声をたくさん聞きました。それと同時に、「やっぱり遠いし、仕事も忙しいし行けないなぁ」と敬遠してしまう意見もありました。そんな時こそ、斜里にいながらも普段どおりの仕事ができる「テレワーク (tele=離れた場所で work=仕事)」の出番だと思えます。

まずは斜里の人たちの要望を聞いて、テレワーク事業を通じて何ができるか考えていきたいです。そして、もっとも斜里の町の中が活気あるものになるためのお手伝いができればと思っています。

これから、どうぞよろしくお願いいたします。



Facebook はじめました

斜里町地域おこし協力隊専用のFacebookを開設しました。隊員が随時活動報告していきますので、ぜひ一度ご覧ください！

▼こちらからアクセス！



広報しゃり 連載決定！

来月の広報しゃり2月号から、地域おこし協力隊員のコラムを連載します。活動報告のほか、斜里という町やテレワークに対する思い、展望などを記します。ぜひ、ご一読ください！

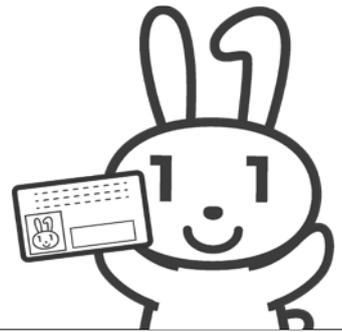
税 に関する 各種申告のお知らせ

マイナンバーの記載・本人確認にご協力ください

申告の手続きなどには、「マイナンバーの記載」と「※本人確認ができる書類の提示またはコピーの添付」が必要となります。

※本人確認ができる書類

- ・マイナンバーカード（個人番号カード）を持っている方
マイナンバーカードを提示するだけで結構です。
- ・マイナンバーカード（個人番号カード）を持っていない方
マイナンバー通知カードと運転免許証・公的医療保険の被保険者証・パスポートなどを提示してください。



年末調整の受付

平成 29 年分の年末調整の受付について、下記の日程で行います。

- ▼日 時 平成 30 年 1 月 11 日(休)～ 1 月 31 日(休)
9 時～ 12 時・ 13 時～ 17 時
※土日・祝日は除きます。
12 時～ 13 時の間はご遠慮ください。

▼場 所 役場 税務課 課税係（1 階 6 番）

※ウトロの事業所は、

平成 30 年 1 月 23 日(火) 10 時～ 12 時

ウトロ漁村センター 2 階会議室で受付します。

▼申告に必要なもの

- ・給与支払報告書（総括表・個人別明細書）
- ・源泉徴収簿（給与台帳）
- ・印鑑 など

※内容確認後、税務署へ直接提出するもの（法定調書合計表・給報税務署提出分など）はお返しします。郵送などで税務署へ提出してください。

償却資産の申告

「平成 30 年度償却資産申告書」を対象者の方にお送りしています。

内容をご確認のうえ、平成 30 年 1 月 23 日(火)までに提出していただきますようお願いいたします。

確定申告の受付

平成 29 年分の確定申告の受付期間は、平成 30 年 2 月 16 日(金)～ 3 月 15 日(休)です。

確定申告の詳細などは広報しゃり 2 月号でお知らせします。

各種申告窓口
問合せ先

役場 税務課 課税係（1 階 6 番） ☎ 0152-23-3131（内線 132）
受付時間：9 時～ 12 時・ 13 時～ 17 時（土日・祝日を除く）

正しく知ろう認知症 ② 認知症支援チームが できました！

■認知症は「気楽」ではない

認 知症の方は「嫌なこともすべて忘れてしまうの
で気楽」などと言われることがあります。しかし、
はたしてそうでしょうか？

認知症の方には記憶障害があります。本人は覚えるこ
とができず、思い出すことができないのです。自分の力
ではどうすることもできず、今までできていたことがで

■家族も不安です

で は、家族や周りの人はどうしたらいいのでしょ
うか。そんな不安を軽減させるためには親しい人や
知っている場所、いつもの日常、自分らしい時間などが
とても大切になります。そのような環境の中で温かく見
守り、否定せず、できないことを手助けしていくことが

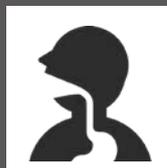
■斜里町に認知症支援チームができました

現 在、「認知症」という言葉はみなさんに知られる
ようになりました。しかし、認知症を発症しても
周囲が気づかないことが多いため、認知症が悪化してし
まいます。さらには、周囲が困り始めた頃に行政への相
談や病院を受診することが多い傾向にあります。

斜里町認知症支援チームは何をするの？

認知症は完治する治療法は現在ありませんが、周囲の人の
対応や協力で進行を遅らせ、穏やかに生活することができます。

このチームでは認知症を早めに発見し、認知症の人やその
家族に早い段階から専門職が関わっていきます。認知症に
なってもご本人の意思が尊重され、住み慣れた斜里町で暮ら
し続けられるための支援の体制を整えていきます。



あなたの 健康のために

健康に役立つ情報をお知らせします

きなくなってしまうます。

「ここはどこだろう？」「あの人は誰だろう？」「間違っ
てないだろうか？」「これからどうなっていく
のだろうか？」など、いつも何かしら不安を抱
えています。

決して、認知症は気楽ではないのです。



重要になっていきます。

しかし、いまだに「認知症」=「頭がおかしくなった人」
と思っている人が多いのが現状です。家族は周囲には隠
し、自分たちだけで何とかしようと疲弊してしまうこと
が多くあります。

地域で支援ができるように、国は認知症施策推進総合
戦略（新オレンジプラン）を策定しています。その一環
として、斜里町に今年の10月から、「斜里町認知症初
期集中支援チーム」が設置されました。



認知症支援チームのことや認知症についての困りごとなど、お気軽にぼると21までご相談ください。

☎ ぼると21 保健福祉課 総合相談係 ☎ 0152-23-6644



天然温泉 & 家庭料理 健康を気遣う方の

サービス付き高齢者向け住宅 おあしす

住みなれた斜里が好き！でも最近、気力、体力に
不安を感じる、子供にも迷惑をかけたくないし…



どんな所？と悩む前に電話だけ
でもどうぞ！外出など今までと
同じ自由な生活が出来ます！

〈お問合せ〉
☎ 0152-23-3337・0152-26-7650

2018年2・3月シェイプアップメンバー募集

・お腹を引き締め痩せる！

「筋膜リリースダイエットYOGA」

・アンチエイジング、たるみ防止!!「顔ヨガ」

申込み・締切り：平成30年1月19日(金) 定員：各タイム5名

斜里ヘルスアップ・ヨガ・サークル (代表：狩野繁子)
毎週金曜19時～21時/ゆめホール知床

斜里HVCヨガ・サークル (代表：原野弘美)
毎週水曜10時～12時/ゆめホール知床



申込み・問合せ ☎090-8275-4063(個)まで

ヘリカルCT肺がん検診のお知らせ

☎ ぼると 21 保健福祉課 保健推進係 ☎ 0152-22-2500

■肺がん予防のためには第一に禁煙

斜里町の死亡原因の第1位は「悪性新生物（がん）」ですが、その中でも特に多いのが「肺がん」です。

肺がんの原因の一つは喫煙であることは疑いありません。

1日に吸うタバコの本数が多いほど、タバコを吸い始めた年齢が若いほど肺がん発生の危険が高いと言われています。喫煙指数（1日の本数×年数）が600を超える人は要注意です。肺がん予防のためには第一に禁煙です。

■ヘリカルCT肺がん検診で早期発見・早期治療を

肺がん検診を受診し、早期発見・早期治療することでかなりの確率で助かる時代となりました。「ヘリカルCT」は、「スパイラル（らせん）CT」ともいわれています。X線をらせん状に照射させながら撮影することで、発見しにくい小さながんの発見率も高いです。

特に長年タバコを吸われている方にもお勧めします。ご自身のためにも家族のためにも今一度、自分の健康について考えてみましょう。

▼対象者 30歳以上の町民

▼検診日 毎週木曜日（1月は11日、18日、25日）
※毎月の検診日は、広報しゃりの「病院診療表」でお知らせしています。

▼検診場所 国保病院 ☎ 0152-23-2102

※予約が必要です。国保病院までご連絡ください。

▼自己負担額 4,000円



平成 29 年度 第 2 回 大腸がん単独検診のお知らせ

大腸がんは進行するまでほとんど自覚症状がありません。大腸がん検診は簡単な便潜血検査（検便）です。早期発見、早期治療のためにも、ぜひこの機会をご利用ください。

☎ ぼると 21 保健福祉課 保健推進係 ☎ 0152-22-2500

▼対象者 30歳以上の町民

▼検診日 2月19日(月)、20日(火)

▼受付時間 9時～18時

▼自己負担額 500円（クーポン対象者は無料）

▼検診場所 ぼると 21

▼申込み

1月9日(火)～2月13日(火)の期間にぼると 21 までご連絡ください。または、ぼると 21 窓口でお受けします。

※後日、検査キットと問診票を送付いたします。

検診時間の指定はありません。受付時間内でご都合の良い時間にお越しください。

町営住宅空室情報



公営住宅情報

☎ 役場 財政課 契約財産係
☎ 0152-23-3131 内線 209

12月18日現在、随時可能な町営住宅は下の表のとおりです。町営住宅の入居には所得制限などの条件があります。詳細は役場 契約財産係までご連絡ください。

団地名	住所	建設年度	間取り	空室の階数	空室数
かえで東団地	青葉町 54	昭和 61 ～平成 3 年	2LDK・3LDK	3、4 階	4
新光南団地	新光町 28	昭和 51 ～54 年	3DK	1 階	7
光陽南団地	光陽町 37	昭和 59 年	3DK	2 階	1
中斜里団地	中斜里 23	平成 12 年	2LDK	1 階	1
ウト口高原団地	ウト口高原 56、61	平成 8 年	2LDK・3LDK	1、2 階	2

就学援助が必要なご家庭に

新入学学用品費を 入学前に支給します

町では小・中・義務教育学校のご家庭に、学用品費などの援助を行っています。平成30年4月に町内の学校へ入学するお子さんがおり支給要件を満たす保護者の方には、新入学に必要な学用品費を今年度からこれまでの7月頃の支給を前倒しし、**入学前の2月に支給します。**

希望する保護者の方は、必要書類を添付して斜里町教育委員会まで申請してください。

☎ 教育委員会 生涯学習課 学校教育係 ☎ 0152-23-3131 内線 230

▼支給するための要件

斜里町在住者で平成30年4月に町内の小・中・義務教育学校に入学予定のお子さんがあり、次のいずれかの要件に当てはまる方。

- ・生活保護法に基づく保護が停止または廃止された方
- ・町民税が非課税または減免された方
- ・個人の事業税が減免された方
- ・固定資産税が減免された方
- ・国民年金掛金が減免された方
- ・国民健康保険料の減免または徴収が猶予された方（町独自の減免は除く）
- ・児童扶養手当の支給を受けている方
- ・生活福祉資金貸付制度による貸付を受けた方
- ・前年収入が生活保護支給基準額の1.47倍未満の保護者世帯
- ・前年収入が生活保護支給基準額の1.47倍以上2.5倍未満の特別支援学級保護者世帯

▼申請先

教育委員会 生涯学習課 学校教育係（役場2階13番）
に**1月31日（水）**までに申請してください。



子育て応援！

子育てに役立つ情報をお知らせします。

▼申請に必要なもの

- ・新入学学用品入学前受給申請書
 - ・申請理由の確認書類
 - ・所得・課税証明書（平成29年1月1日以降に斜里町に転入された方のみ）
- ※書類は教育委員会または学校から配布されます。

▼支給額（児童・生徒1人当たり）

- ・小学校もしくは義務教育学校前期課程に入学予定の児童…40,600円
- ・中学校もしくは義務教育学校後期課程に入学予定の生徒…47,400円

※ただし、前年収入が生活保護支給基準額の1.47倍以上2.5倍未満の特別支援学級保護者世帯は、この支給額の約2分の1の額となります。

▼支給時期 平成30年2月下旬

▼支給方法 保護者指定の口座に振り込み

※「入学前受給」を希望されない場合は、これ以外の就学援助費を含め、これまでどおり4月に申請を行うことができます。



北海道小児救急電話相談をご利用ください

夜間にお子さんの急な病気やけがで、困ったことはありませんか？保護者のみなさんからの相談に看護師や小児科医師が電話で助言を行います。ご利用ください。

▼相談の例

- ・転んで頭をぶつけた…どうしよう？
- ・熱が出た…何度まで様子を見たらいいの？
- ・この症状はすぐに医療機関を受診した方がいいの？

▼相談受付時間 19時～翌朝8時（年中無休）

▼相談電話番号 011-232-1599 もしくは #8000（短縮ダイヤル）

※IP電話、ひかり電話およびPHSからは短縮ダイヤルは利用できません。

▼注意

- ・医師が直接診療して治療を行うものではなく、あくまで電話による家庭での一般的対処などに関する助言を行うものです。
- ・緊急性のある子どものための電話相談ですので、育児相談はご遠慮ください。

☎ 網走保健所 企画総務課 ☎ 0152-41-0685

子育てのお手伝いをしてみませんか？

ファミリーサポートセンター あずかり会員募集！

平成 30 年度より、地域全体で子どもや子育て家庭を支援する事業として「斜里町ファミリー・サポート・センター」を開設します。これは「子育ての援助を受けたい人」と「子育ての援助を行いたい人」の助け合いの活動組織です。開始に先立ち、地域での子育て支援に協力いただける「あずかり会員（有償ボランティア会員）」を募集します。

子どもが好きなみなさん、子育てのお手伝いをしてみませんか？多くの方の参加をお待ちしています！

▼あずかり会員になるための要件

- ・斜里町在住者で満 20 歳以上の方
- ・心身ともに健康で子育てに理解と熱意がある方
- ・原則として自宅で安全にお子さんを預かることができる方

▼あずかり会員の活動内容の例

- ・保育園などの開始前、終了後の子どもの預かり
- ・保育園などへの送り迎え

▼預かり対象年齢

生後 6 ヶ月～小学校（義務教育学校 6 年生）修了前

▼あずかり会員の参加申込み方法

役場 こども支援課 児童育成係までご連絡ください。

☎ 役場こども支援課 児童育成係

☎ 0152-23-3131 内線 146

▼ファミリー・サポート・センター 会員講習会

会員になるためには下記の講習会に参加していただく必要があります。

※第 1 回と第 2 回は同じ内容です。どちらかにご参加ください。

	第 1 回	第 2 回
開催日	2 月 9 日(金)	3 月 18 日(日)
講習時間	8 時 45 分～ 17 時 25 分	
会場	ウトロ漁村センター 2 階会議室	ゆめホール知床 会議室 2
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保身の心、子どもの世話 ・子どもとの関わり方（遊び方・遊ばせ方） ・子どもの栄養と食生活 ・ファミリー・サポート・センター事業概要説明 他 	

のびのび // 子育て支援センター ☎ 0152-23-5355



イベント	場所	日程	時間
開放日	子育て支援センター	11 日(木)、15 日(月)、18 日(木)、22 日(月)、25 日(木)、29 日(月)	【午前】 9:30～11:30 【午後】 13:00～16:30
		9 日(火)、10 日(水)、12 日(金)、16 日(火)、17 日(水)、19 日(金)、23 日(火)、24 日(水)、26 日(金)、30 日(火)、31 日(水)	【午後】 13:00～16:30
遊びの広場	子育て支援センター	10 日(水)、12 日(金)、16 日(火)、19 日(金)、26 日(金)、30 日(火)	10:00～11:30
	ウトロ漁村センター	17 日(水)、31 日(水)	10:00～11:30
移動開放日	はまなす保育園	11 日(木)	10:00～11:30
土曜開放日	子育て支援センター	13 日(土)、20 日(土)	10:00～11:30

わくわく // 児童館 ☎ 0152-23-5245

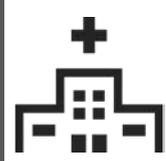
イベント	日程	時間
百人一首大会	6 日(土)	13:30～
冬休み木工教室 ※参加料 100 円	9 日(火)	13:30～
朗読劇がやってくる 網走市の男性読み聞かせグループ「Mints」による朗読劇です。	13 日(土)	13:30～
ママカフェ ※参加料 100 円	25 日(木)	10:30～
英語でゲーム	27 日(土)	13:30～

あくあく // ぽると 21 ☎ 0152-22-2500

内容	日程	時間
3 歳児健診 (26 年 7 月生)	11 日(木)	受付 13:00～13:30
3 歳児健診 (26 年 8 月生)		受付 13:30～14:00
お誕生学級 (28 年 12 月・29 年 1 月生)	24 日(水)	受付 10:30～10:40
9 ヶ月健診 (29 年 4 月生)	25 日(木)	受付 13:00～13:30
4 ヶ月健診 (29 年 9 月生)		受付 13:30～14:00
離乳食教室 ※対象者にはお知らせ	26 日(金)	13:30～15:00



1月の診療表



国保病院から お知らせ

〒国保病院 ☎ 0152-23-2102

外来診療表		月	火	水	木	金			
内科	外来	午前 (1診)	合地	合地	森(秀)	合地	合地		
		午前 (2診)	細川 22日:吉田	伊藤	細川	伊藤	森(秀) 12日:佐藤		
		午後	森(秀) 22日:吉田	細川	細川	森(秀)	伊藤 12日:佐藤		
外科	午前	1日:休診		2日:休診		整形外科	4日:休診		
		8日:休診		9日:菊一			11日:小島		
		15日:松本		16日:松本			18日:森(雅)		
		整形外科	22日:森(雅)	整形外科	23日:森(雅)		25日:小島		
		整形外科	29日:森(雅)	整形外科	30日:森(雅)				
	午後	1日:休診		新田		休診		休診	
		8日:休診							
		15日:松本							
		整形外科	22日:森(雅)						
		整形外科	29日:森(雅)						
小児科	午前	旭川医大		旭川医大		休診		旭川医大	
	午後	旭川医大		予防接種		休診		旭川医大 (慢性疾患診療)	
産婦人科	午前	-		-		10日:加藤 24日:千石		11日:加藤 25日:千石	
	午後	-		-		10日:加藤 24日:千石		11日:休診 25日:千石	
皮膚科		15日:沖永		-		-		-	
循環器科		22日:鈴木		-		-		-	

受付時間	午前	午後
内科	8:30~11:00	13:30(火曜は14:00)~16:00
外科	8:30~11:00(11日(休)、25日(休)、金曜は10:00から)	13:00~16:00(22日(月)、29日(月)は15:00まで)
小児科	8:30~11:00	13:00~16:00(火・金曜は15:00まで) ※11日(休)、25日(休)は乳児健診のため、15:00以降の診療となります。
産婦人科	8:30~11:00	13:00~16:00(25日(休)は15:00まで) ※11日(休)は午後休診。
皮膚科	8:30~11:00	13:30~16:00
循環器科 ※予約診療のみ	8:30~11:00	13:30~15:00

※**整形外科外来診療は予約制です。**事前に外来窓口または電話(0152-23-2102)により予約をお願いいたします。
 (予約受付時間:平日14時~16時)予約された患者様につきましては、予約時間の30分前までにお越しください。
 また、投薬のみの患者様につきましては内科外来で、関節注射のみの患者様につきましては外科の新田医師・松本医師の診療でも対応しますのでそちらをご利用ください。
 ※**ヘリカルCT肺がん検診は11日、18日、25日(毎週木曜日)**で、予約制です。
 ※都合により、担当医師が変更になることがあります。

臨時職員を募集します



一緒に働きませんか？

町職員の募集情報をお知らせします。

区分	斜里仲よしクラブ 指導員	朝日仲よしクラブ 指導員	ウトロ仲よし クラブ指導員	仲よしクラブ 代替指導員	斜里町国保病院 看護助手
募集人数	4名		1名	若干名	1名
勤務場所	斜里仲よしクラブ (斜里小学校内)	朝日仲よしクラブ (朝日小学校内)	ウトロ仲よしクラブ (漁村センター内)	町内仲よしクラブ	斜里町国民 健康保険病院
業務内容	【斜里・朝日・ウトロ仲よしクラブ】 仲よしクラブにおける児童の安全管理、文書作成などのパソコン業務、遊びの指導、その他仲よしクラブ運営に関する業務 【ウトロ仲よしクラブのみ】 午前中に行っている就学前の「親子ひろば」の運営に関する業務			仲よしクラブにおける児童の安全管理、遊びの指導、その他仲よしクラブ運営に関する業務	看護師の助手業務 (患者の移送介助・入浴介助・病室清掃等)
資格・条件	町内在住者で高等学校の課程を修了し、子どもが好きな方				町内在住者で明るく元気で体力に自信のある方
勤務日と時間	月～土曜日(交代制勤務) ①平日:12時30分～18時30分 ②土曜・学校の長期休業・振替休業日: 7時45分～18時30分(うち、最大8時間)		月～土曜日 (交代制勤務) ①平日:9時45分～18時(うち、最大7時間15分)※就学前の「親子ひろば」は午前勤務で週に3日程度です。 ②土曜・学校の長期休業・振替休業日: 7時45分～18時30分(うち、最大8時間)	左記のとおり ※代替指導員は要請のある日に出勤となります。	月～金曜日 ※土日・祝日休み 8時15分～17時 (昼休憩1時間)
賃金	935円/時 ※月12～15万円程度			935円/時	6,500円/日
保険等	社会保険・厚生年金・雇用保険 加入				
雇用開始日	平成30年2月1日 ※要相談			—	平成30年 2月1日
申込期限	平成30年 1月19日(金)			随時受付	平成30年 1月19日(金)
申込方法	履歴書を役場 児童育成係まで提出 ※応募多数の場合は面接試験を実施します。				履歴書を国保病院 受付まで提出
問合せ	役場 こども支援課 児童育成係 ☎0152-23-3131 内線146				斜里町国保病院 ☎0152-23-2102

消防出初式のご案内

恒例の消防出初式を次のとおり、実施します。

▼日時と場所 平成30年1月6日(出)

- ・サイレンの吹鳴 8時と8時30分に吹鳴
- ・市街まとい振り 9時から実施

※ウトロ地区は4日(休)9時から実施



119 だより

閩 消防署 ☎0152-23-2435

- ・分列行進 10時30分から
知床串丸前～ゆめホール知床を行進
- ・式典 11時からゆめホール知床 文化ホールで開催

消防署からのお願い

みなさんの大切な命や財産を守るためにも、住宅用火災警報器を設置しましょう！



今月の納期

▼町 税

- ・口座振替日…1月25日(木)
- ・納期限……………1月31日(水)

▼税 目

- ・国民健康保険料…7期
- ・後期高齢者医療保険料…7期

▼水道料・下水道使用料

- ・口座振替日…1月25日(木)
- ・納期限……………1月25日(木)

アライグマ指名手配中!

外来種であるアライグマは農作物の食害、鳥類の卵やザリガニ・カエルなどの捕食による生態系への害、伝染病を運ぶなどの被害をもたらします。見かけたら、役場 自然環境係まで情報をお寄せください。

図 役場 環境課 自然環境係

☎ 0152-23-3131 内線 217

メールアドレス

sh.shizen@town.shari.

hokkaido.jp

▼生態

- ・アライグマは川沿いの森林に棲みます。
- ・食べ物があれば、農耕地や市街地にも棲みます。

▼被害に遭わないための対策

- ・野生動物(野ネコ・キツネも含む)へのエサやりはやめてください。
- ・ベランダの下、屋根裏、物置に住みつくこともあります。特に冬は、密閉しましょう。



しましまのしっぽ

指がくっきり



アライグマの足跡
▶ 器用な指がある



タヌキ・キツネの足跡
▶ 肉球がある



暮らしの情報

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしのヒントになる情報を紹介します。

介護職員初任者研修 受講生募集

厚生労働省指定講座・北海道知事指定講座の「介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級研修)」の受講生を募集します。

▼申込み方法

(株)日本教育クリエイト三幸福祉カレッジ(☎ 0120-294-350)にご連絡してください。

▼受講料(すべて税込)

- ・一般の方…97,200円
 - ・町内介護事業所からの助成を受けず、斜里高校の在学学生または斜里町に住民票があり近隣校へ進学されている方…90,000円(教育訓練給付金制度も対象です)
- ※町内介護事業所に就労(予定)の方、JA斜里町組合員・ご家族の方などに助成金があります。詳細はぼると21までお問い合わせください。

▼研修日

2月1日(木)・5日(月)・6日(火)・7日(水)・8日(木)・9日(金)・13日(火)・14日(水)・15日(木)・16日(金)・19日(月)・20日(火)・23日(金)・26日(月)・27日(火) 計15日間

▼授業時間

基本時間…9時~16時10分
※2月1日・8日・19日の終了時刻は17時10分、2月27日の終了時刻は15時10分です。

▼場所 斜里町社会福祉協議会(斜里町文光町52番地17)

▼募集人数 15名

図 ぼると21 保健福祉課 福祉係
☎ 0152-22-2500

どんど焼きに関する お願い

斜里町商工会青年部では、年頭の伝統行事である「どんど焼き」を毎年実施しています。しかし、対象でないものが持ち込まれる例が年々増え、その対応に大変苦慮しています。どんど焼きを今後も継続するために、以下のものを絶対に持ち込まないよう、みなさんのご協力をお願いします。また、プラスチック製のお飾りや針金などの金属類は必ず取り外し、分別してください。

▼どんど焼きできないもの

鏡餅、みかん、人形、ぬいぐるみ、だるま、写真、目録、引き出物など
※1月7日(日)に、斜里神社境内に分別用の箱を設置します。プラスチックの飾りや針金はこの箱に入れてください。

▼どんど焼き実施日

1月16日(火) 10時~正午

図 斜里町商工会青年部事務局

☎ 0152-23-2185 (担当:吉野)

「赤いオーロラの街で」 出版記念トークカフェ

斜里在住の作家 伊藤瑞彦氏が書いた小説「赤いオーロラの街で」が12月19日に出版されました。この作品は斜里を舞台にしており、第5回ハヤカワSFコンテストの最終候補にも選ばれました。これを記念しトークイベントが開催されますので、ぜひ足をお運びください。

※事前の申込み不要・参加無料です。

▼日時 1月19日(金)

18時30分~(開場18時)

▼場所 斜里町立図書館 会議室

図「赤いオーロラの街で」実行委員会
☎ 080-4505-9500 (担当:津村)

作文を読んで 人権について考えてみませんか？

中学生人権作文コンテストで佳作を受賞した高橋 ^{かりん}花綸さん(斜里中1年)の作品を紹介します



人権はみなさんの身近な問題です。しかし、人権と聞くと少し難しく感じるかもしれません。

その人権について、全国の中学生のみなさんが真剣に考えその思いを記しました。それが、「第37回全国中学生人権作文コンテスト」です。その東北北海道大会の北見地区で、斜里中学校1年の高橋花綸さんが佳作を受賞しました。

高橋さんは「自分が佳作を受賞できるなんて思わなかった」と受賞した驚きとともに、「斜里町をはじめとして、高齢者が暮らしやすい町が増えればいいな」と思って書きました」と作文に込めた思いを語ってくれました。

今回、その作文の一部を抜粋してご紹介します。ぜひ、ご一読ください。そして、少しでも人権について考えるきっかけになれば幸いです。

高齢者が暮らしやすい社会

私たちが暮らしている日本は、高齢者がたくさんいます。私は、高齢者が過ごしやすい環境をつくったほうがいいと思います。

これらを改善するには、信号だと、目や不自由な人が、すぐ青だと分かるために今されている工夫は、音や色で判断しやすくしていますが、その工夫がされているのは、私が暮らしている町では、一部だけです。なので、一部だけでなく、町の信号全部に、高齢者が判断しやすい工夫をしたほうがいいと思います。(中略)

私は、高齢者に楽しくて過ごしやすい環境も必要だと思います。なので、高齢者が子どもと関わる時間も大切だと思います。小学校高学年くらいの子どもたちが、自分たちの考えたゲームなどを老人ホームに行つて、高齢者と関わることで、高齢者は、元気になると思うし、明るくなると思います。(中略)

私は、日本で、高齢者が増えても、若い人達が、高齢者にこわい態度をとるのではなく優しい態度をとることで、高齢者との、きよりもちぢまるし、コミュニケーションもとりやすくなると、私は感じたことを書きました。

町民のみなさんの声で「広報しゃり」はつくられます。ぜひ、みなさんの声をお聞かせください。

▶アンケート

- Q 1 今月号でよかった内容があれば教えてください。
- Q 2 取り上げてほしい内容や企画があれば教えてください。
- Q 3 その他、広報に関するご意見があれば教えてください。

※すべての質問に回答していただく必要はありません。

〈郵送での回答〉アンケートの回答を書いて、下記住所まで。

〒099-4192 斜里町本町 12 番地 斜里町役場 企画係 宛

〈FAX での回答〉アンケートの回答を書いて、下記番号まで。

FAX 0152-23-4150

〈メールでの回答〉アンケートの回答を入力し、下記アドレスまで。

sh.kikaku@town.shari.hokkaido.jp

〈アンケートフォームからの回答〉

下記から簡単にアンケート回答ができます。





まち発見レポート

斜里のまちでつけた「発見」をご紹介します。
また、みなさんからも情報を募集しております。
固 役場 企画総務課 企画係 ☎ 0152-23-3131 (内線 241)

網走地方法人會 斜里支部からグループホーム「ともに中斜里」へ

車イスと入浴用補助器具のプレゼント

網走地方法人會 斜里支部は毎年、社会貢献活動として福祉施設に介護用具の寄贈を行っています。今回、グループホーム「ともに中斜里」へ車イスと入浴用補助器具の手すりなどが1台ずつ寄贈され、11月21日に寄贈式が行われました。法人會の須田支部長は「中斜里にこのような介護施設ができるのが夢だった。今回の寄贈は、施設への応援の気持ちも込めさせていただきました」と話しました。施設のスタッフの方々は車イスと手すりを入居者のみなさんに見せ、「もらったよ、良かったね」と声をかけると施設内に笑顔が広がりました。



須田支部長（右）から施設スタッフへ



「ともに」のみなさんと

誰もが安心して暮らし続けられるまちづくり町民シンポジウム

地域を巻き込み支援する仕組みを紹介

11月26日、ぽると21で「誰もが安心して暮らし続けられるまちづくり町民シンポジウム」が開催されました。講演会の講師を務めた大原 裕介さんは当別町で「社会福祉法人ゆうゆう」を立ち上げ、子どもや高齢者、障害者を地域で支援する仕組みを構築しました。さらに、「地域生活サポーター」という町の商品券がもらえる有償の福祉ボランティア制度など地域共生のまちづくりの事例を紹介し、90名の来場者はその発想力に感心しながら耳を傾けていました。



福祉に関わる町民らとのトークセッションも行われました
(大原さんは左から2番目)

斜里町精神障害者回復者クラブあおぞらの会 クリスマスパティー

はとの会手作りの石狩鍋に舌鼓

12月13日、ぽると21で恒例の「斜里町精神障害者回復者クラブ あおぞらの会」のクリスマスパーティーが開催されました。そこでは毎年、ボランティア団体「はとの会」が作った料理が振る舞われています。今年の料理は石狩鍋。はとの会のみなさんが持ち寄った食材で、朝から約30人分の石狩鍋が作られました。パーティーに参加されたみなさんから、「おいしい!」という声があちらこちらで上がりました。



はとの会のみなさん



みなさん絶賛の石狩鍋、何杯もおかわりする方もいました。



曾根さんが瑞宝単光章を受章されました

斜 里町消防団員としての功績をたたえ

曾根 明さんがこの度、瑞宝単光章を受章されました。曾根さんは昭和 39 年に消防団に入団され、44 年にわたり消防団業務にご尽力されました。平成 19 年には分団長を務められ、火災発生時には率先して出動し消火・防災の指揮をとるとともに、常に被害を最小限度に食い止めました。また、防災訓練をはじめとして、町民のみなさんへの火災予防意識の普及や消防力の強化などに貢献されました。この度の受賞、おめでとうございます。

五十地 元子さんが日本善行会 秋季善行表彰を受賞されました

仲 間との熱心な活動の成果をたたえ

五十地 元子さんがこの度、秋季善行表彰を受賞されました。五十地さんは夫が脳梗塞を患ったことをきっかけに、リハビリに励む仲間たちと「つくし友の会」を創立しました。そこでは、リハビリの一環としてハンドベルの演奏に取り組み、イベントで発表するなど精力的に活動されました。現在は、大正琴の指導者として仲間とともにボランティア活動に取り組んでいます。この度の受賞、おめでとうございます。



夫に寄り添う五十地元子さん



遠藤さん(左)と丹羽さん(右)

丹羽さんと遠藤さんが北海道国民健康保険団体連合会表彰を受賞されました

国 保運営協議会委員としての功績をたたえ

丹羽 修二さんと遠藤 千恵子さんが「北海道国民健康保険団体連合会表彰」を受賞されました。丹羽さんは平成元年から、遠藤さんは平成 11 年から国保事業の運営に関する審議を行う「斜里町国民健康保険運営協議会委員」を務められ、長年にわたり、ご尽力されました。この度の受賞、おめでとうございます。

原田 道子さん 91歳 青葉町1/28	太田ミヨ子さん 96歳 川上1/25	新田 了子さん 73歳 美咲1/22	狩野 武美さん 66歳 朝日町1/20	佐々木 供子さん 94歳 文光町1/20	鈴木 兼吉さん 84歳 港町1/10	山崎 せきさん 100歳 青葉町1/14	菅原 和江さん 86歳 港町1/12	京堂 フミさん 93歳 本町1/10	石崎 一さん 85歳 文光町1/10	秋川 昌儀さん 78歳 港西町1/10	渡辺 則子さん 64歳 ワトロ高原1/4	♡ 谷 かわりさん 釧路市 1/22	♡ 東 優里さん 本町 1/22	♡ 中村 良太さん 峰浜 1/22	♡ 上山奈緒子さん 兵庫県 1/22	結婚おめでとう 届出日です	植木 海翔くん 祐成さん 新光町1/27	澤田 琴音さん 敏広さん 文光町1/17	高橋 笑真さん 一登さん 青葉町1/15	秋葉 響さん 圭太さん ワトロ中島1/15	津田 玲来ちゃん 康司さん 青葉町1/14	合瀬 仁暁くん 元貴さん 朝日町1/11	市川 湊くん 巧さん 豊倉1/7	誕生おめでとう
---------------------	--------------------	--------------------	---------------------	----------------------	--------------------	----------------------	--------------------	--------------------	--------------------	---------------------	----------------------	--------------------	------------------	-------------------	--------------------	------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	------------------	---------

人の動き <平成29年11月末現在>
 ■人口/11,737人(-32人)
 男: 5,789人(-13人) 女: 5,948人(-19人)
 ■世帯/5,585世帯(-22世帯)

100平方メートルの運動の森 トラスト
 <11月の参加状況>
 ●寄付金額 35,200円
 ●参加者 33人(件)



斜里人 魅力発見



斜里で活躍するキラリと光る人・団体を紹介します。

▷▷PROFILE

伊藤昇一 / いとうしょういち

68歳・川上在住。これまで全国障害者スポーツ大会に4回出場し、いずれも優秀な成績を収めている。



現在も第一線で活躍

「10km走るのが日課」の伊藤さん。68歳という年齢ながら、第一線で活躍するランナーです。今年の7月に開催された「北海道障害者スポーツ大会」では陸上100m 上肢障害区分40歳以上の部で優勝、10月に愛媛県で開催された「全国障害者スポーツ大会」に出場し、「16秒17」のタイムで3位に輝きました。伊藤さんが全国大会に出場するのは4回目。しかも、全国大

会に北海道代表として選ばれるためには、5回連続で全道大会に優勝することが条件という狭き門。出場選手の中で最高齢ながら、その厳しい戦いを伊藤さんは勝ち抜いてきたのです。

陸上の魅力は「達成感」と「仲間」

伊藤さんは砲丸投げで全国大会に出場している他、オホーツク管内の主なマラソン大会や北海道マラソンに精力的に出場するなど、マルチに活躍しています。そんな伊藤さんが思う陸上の魅力とは？

「走っていて苦しい思うことは何度もある。でも、達成感は何ものにも代え難い。苦しさより楽しさが勝るから続けられるんだ」と語ります。

また、伊藤さんは「知床斜里ランニングクラブ」に所属し、他のメンバーのみなさんと練習に励んでいます。「練習の時に仲間に会えるのが楽しみ、仲間がいるから頑張れる」と話す伊藤さん。老若男女を問わず、陸上を通じて仲間と繋がっていることが伊藤さんを支えているのです。



愛媛で開催された全国大会のメダルやゼッケン。自宅には、他にも数えきれないほどの栄光の証が大切に保管してある。

目の前の目標へ一歩ずつ

取材時（11月20日時点）、伊藤さんは12月の「ホノルルマラソン」に向けて、トレーニング中。ホノルルへは家族で行くことになっており、そのワクワクが伝わってきます。そして、次に掲げる目標は、「東京マラソン」出場とのこと。このように、一つ一つの目の前の目標に向かって、努力を続ける伊藤さん。「いつまで走り続けられるかはわからないけれど、身体が動く限りは走りたい」と話します。

その力強い姿からは、これからも元気に走り続ける伊藤さんの姿が目に見えそうです。

斜里町の2017年

あなたにとってどんな1年でしたか？

1/30 ~



知床流水フェス スタート

新たな冬の体験型イベント「知床流水フェス2017」がスタートしました。来場者は、アイスタワーやアイスバーで幻想的な知床の冬を楽しみました。

3/7

消防署庁舎がすべて完成

平成27年7月から始まった消防署庁舎の改築。平成28年4月に事務所棟、今年の3月に車庫棟が完成し、すべての工事が完了しました。

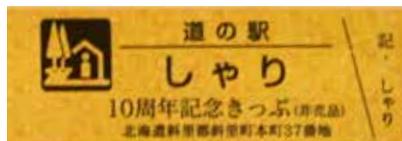


4月



道の駅10周年 おめでとう

道の駅しゃりと道の駅うとろ・シリエトクはどちらも平成19年4月にオープン！今年で10周年を迎えました。これを記念し、記念きっぷが配られました。



7/21
7/22



斜里の熱い2日間 ねぶた

35回目となるしれとこねぶた祭り2日間にわたって開催されました。「やーやどー」のかけ声と練習を重ねたお囃子、自慢の扇ねぶたが練り歩き、観客を沸かせました。

9/16
9/17



100平方メートル運動40周年

しれとこ100平方メートル運動が40周年を迎え、記念事業が2日間にわたって開催されました。名誉町民の午来昌氏の講演をはじめ、運動が歩んできた道のりを町民と参加者でたどりました。



11/3



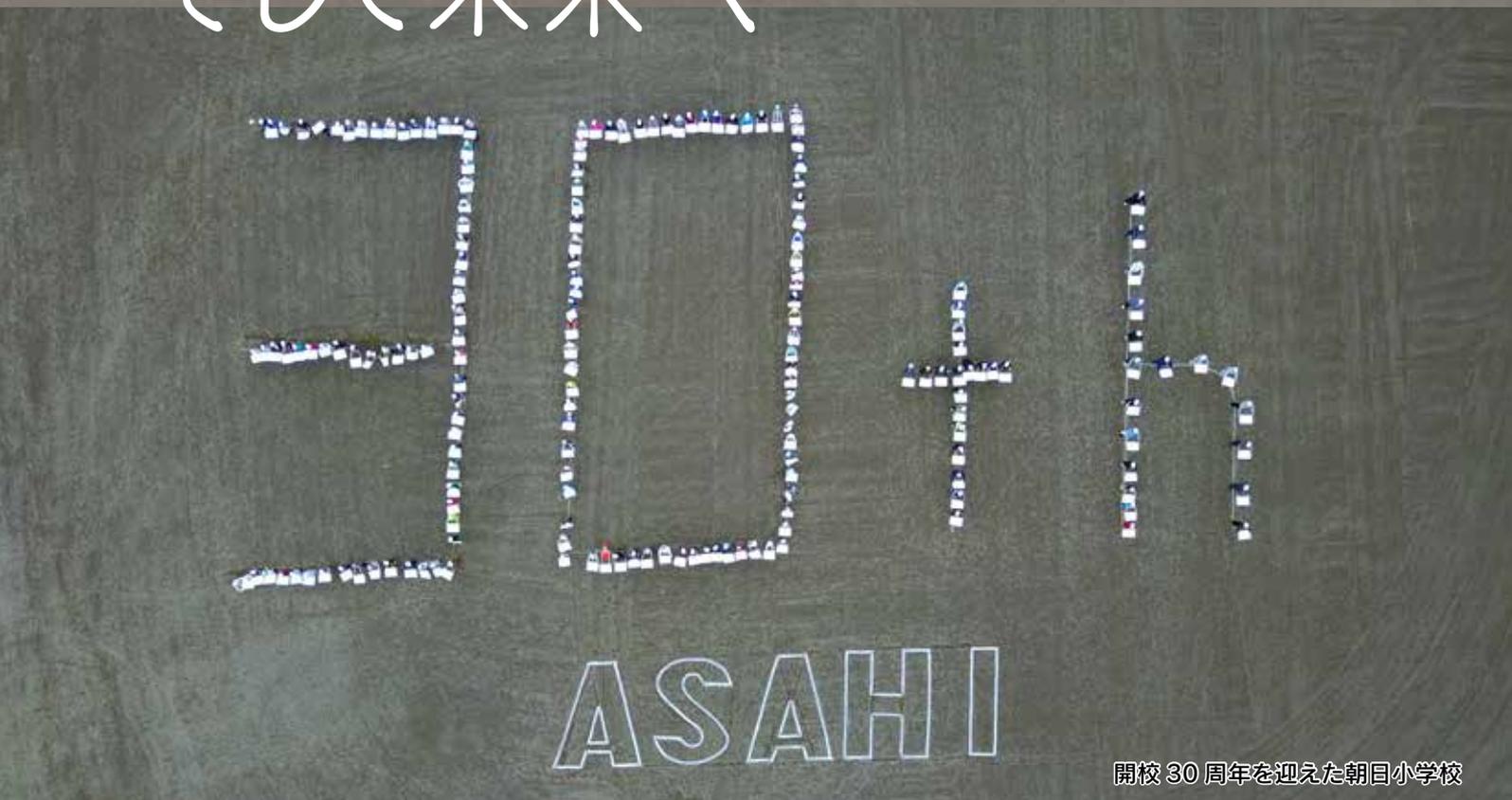
まちづくりに尽くされた方に感謝を込めて

斜里町顕彰・町長表彰授与式が行われ、顕彰に輝いた3名、町長表彰に輝いた24名・3団体を多くの町民のみなさんでお祝いしました。



ーそして未来へ

開校 100 周年を迎えた知床ウトロ小学校



ASAHI

開校 30 周年を迎えた朝目小学校

今月の音♪

広報担当者が取材中に
聞こえた季節の「音」を
紹介します。

今月の音は「季節の歌」
です。12月下旬はクリスマスに大晦日と何かと慌ただしいですね。そんな時に巷で聞こえてくるのは、クリスマスソングやお正月の歌。流行はあっても、季節の歌は世代を問わず□ずさむことができるはず。メロディーを聞く度、世代をつなぐ歌の力を感じずにはいられません。

みなさんが思わず歌を□ずさみたくなるような、そんな明るい年末年始を過ごされることを祈っております。



2018 年も
幸せな音が響きますように